

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和2年8月末現在
男 16,159人
女 16,001人
総人口 32,160人
世帯数 13,349世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレホンサービス
☎0800-800-8848
(通話料無料)

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.98 オオツノトンボ
(ツノトンボ科)

学名 Protidricerus japonicas MacLachlan

文 小菅 次男
写真 秘書広聴課

7月1日、町内の方から秘書広聴課に珍しいトンボを見つけたとの連絡がありました。早速秘書広聴課の広報紙担当が訪ねたところ、普段見かけることの少ないオオツノトンボであることが分かりました。

▼トンボの仲間か？
オオツノトンボは、トンボのような体にチョウのような触角がある風変わりな姿から、「変わったトンボ」または「新種のトンボ」を見つけたと問い合わせられたり、新聞に取り上げられたりすることがあります。実は、トンボの仲間ではなく分類上ではアミメカゲロウ目のツノトンボ科の虫で、トンボの図鑑を見ても載っていません。

▼オオツノトンボとは
日本固有種で本州・四国・九州に分布します。体長は30mm前後で、体は細長く、翅は透明で触角はともも長く、腹部が青灰色で黄色と白の斑紋があります。低山地から山地の草原にすみ、成虫は6月下旬から8月下旬まで見られますが数は少なく、三重県、大阪府では準絶滅危惧に指定されています。止まる時に腹部を背側にそり返らせる独特の姿勢になることがあり、主に昼間活動していますが灯火にもよく飛んできます。

▼幼虫は独特な形
幼虫は、雑木林の根元や落ち葉の下などにいます。アリジゴクとして有名なウスバカゲロウの幼虫

と形が似ていますが、地中に巣を作らず、体の色を木の葉や樹皮に擬態しているものや、体の表面に砂やごみをのせてカモフラージュする種があり、歩き回って小さな虫を捕らえて食べています。

▼ツノトンボの仲間
ツノトンボの仲間は日本には4種類生息しています。茨城県にはこのうち3種類がすんでいます。春先の4月から6月にかけて発生する、生息地の限られた小型のキバネツノトンボ、6月から9月にかけて平地に多いツノトンボ、同じく夏に発生するやや山地性のオオツノトンボです。いずれもススキなどの草原に生息しています。あと一種類は沖繩にのみ産するオキナワツノトンボです。

ちびっ子アート まさみ幼稚園



「イルカの大ジャンプ」
しばぬま めい (6歳)



「みんなでイルカショーをみたよ」
えびさわ あらた (5歳)